

県民の森の植物 No.89

ウメガサソウ

(ツツジ科 ウメガサソウ属)

常緑小低木。草のように見える高さ 5 cm ほどの小さな小さなツツジです。林床でひっそりと梅のような白い花を俯いて咲かせます。

葉は輪生状に付き、長さは 2-3 cm ほど。縁には尖った鋸歯があります。花は下向きですが、実として熟してくると上向きになります。茶色に熟すと他のツツジと同じように裂けて散開し、種を飛ばします。冬は雪に埋もれて雪布団の下で過ごします。

県民の森では針葉樹の林床などで見られます。目立たないので、気を付けてじっくり足元を見て歩かないと見過ごしてしまいがちです。出会えた時は嬉しくて思わず歓声を上げてしまいます。



冬芽 2021/4/20



芽吹き 2021/6/8



花 2024/6/25



若い実 2024/8/31



昨年できた実 2021/4/11

県民の森の植物 No.89 ウメガサソウ (ツツジ科 ウメガサソウ属)

常緑小低木。草のように見える高さ 5 cm ほどの小さな小さなツツジです。林床でひっそりと梅のような白い花を俯いて咲かせます。

葉は輪生状に付き、長さは 2-3 cm ほど。縁には尖った鋸歯があります。花は下向きですが、実として熟してくると上向きになります。茶色に熟すと他のツツジと同じように裂けて散開し、種を飛ばします。冬は雪に埋もれて雪布団の下で過ごします。

県民の森では針葉樹の林床などで見られます。目立たないので、気を付けてじっくり足元を見て歩かないと見過ごしてしまいがちです。出会えた時は嬉しくて思わず歓声を上げてしまいます。



冬芽 2021/4/20



芽吹き 2021/6/8



花 2024/6/25



若い実 2024/8/31



昨年できた実 2021/4/11